

令和7年度

事業計画及び
予算書

公益財団法人 静岡産業振興協会

目 次

1	事業計画	1
2	収支予算書	13
3	収支予算内訳表	16
4	資金調達及び設備投資の見込を記載した書類	21

令和7年度 公益財団法人 静岡産業振興協会 事業計画

I 事業方針

ツインメッセにおける昨年度の貸館状況は新規顧客の獲得が好調であったため、新型コロナ禍で落ち込んだ貸館利用率や賃貸料収入は順調に回復した。しかしながら、原材料費や光熱費、人件費等の高騰による物価の上昇を受け、今後、経営を取り巻く環境はより一層厳しいものになると予想される。そのような中、第2次中期経営計画の3年目にあたる今年度は昨年度に引き続き、当該計画に沿って事業の4本柱である①「ツインメッセ静岡貸館事業」、②「地場産業支援事業」、③「都市型産業支援事業」、④「中小企業支援センター事業」の各事業において、目標の達成に取り組む。

各事業の主な重点事項は、次のとおり。

- 1 「ツインメッセ静岡貸館事業」では、「展示機能を活かした交流人口拡大による地域経済の活性化」を目的に、賑わいと活力のある地域づくりに貢献するため、貸館利用率の向上に努める。催事開催のきっかけとなる情報収集に努め、催事主催者の支援や催事開催を後押しする新たな制度の検討に取り組む。また、SNSとイベントカレンダーの連動性を強化しデジタルと紙媒体との相乗効果を高め、全国に向けたファンづくりに取り組む。
- 2 「地場産業支援事業」では、ニューウェーブ「しずおか」創造事業や地場産業販路開拓・PR事業を始めとした既存の事業をベースに継続して取り組み、その効果を検証する。また、産業フェアしずおかでは、時代のニーズに合わせてSNSを活用し、魅力を発信・拡散することで、これまでアプローチできなかった層の来場獲得を目指す。
- 3 「都市型産業支援事業」では、指定管理事業の2年度目として、市が求める事業方針に沿って産学交流センターの管理運営に取り組む。創業希望者に対する総合的な支援を実施するとともに、中小企業等が、企業や大学等と共同で行う産学連携事業を推進することで、技術課題や地域課題の解決を促進する。
- 4 「中小企業支援センター事業」では、個人や中小企業の経営課題に対して窓口相談や専門家派遣事業で対応する他、中小企業の販売促進支援のため、マーケティングを中心に必要なスキルやノウハウを習得する実践的なセミナーとワークショップを組み合わせ実施する。

II 事業概要

1 公益目的事業

(1) ツインメッセ静岡貸館事業（産業及び地域の振興・交流拠点事業）

① 展示場及び会議室等の貸与 221,306千円（212,617千円）

地場産業団体や地元中小企業等が関与する催事及び国、地方公共団体等が実施する事業など、公益目的の事業に展示場や会議室等を提供し、地域産業の活動支援や経済交流の促進を図る。

また、静岡市に集積する産業・企業の振興を最優先し、経験豊かな職員が催事開催に向けての的確な提案・サポートを行い円滑な運営を図る。

<主な催事>（地場産業団体や地元中小企業等が関与する催事）

静岡ホビーショー（5月） 静岡優良ツキ板展示大会（6月・10月・3月）
ビジネスマッチング商談会（10月） 静岡ハンドメイドマルシェ（10月）
産業フェアしずおか（11月） クリスマスフェスタ（12月）
SDGs推進 TGC しずおか（1月） 静岡どてらい市（3月）など

<主な催事>（国、地方公共団体等が行う事業）

静岡地区公立高校説明会（8月） 一般用医薬品販売の国家資格試験（9月）
介護支援専門員実務研修受講試験（10月） 確定申告会場（2～3月） など

※「◆取組」「◇目標」については、

「3 公益と収益に共通する事業」「（1）利用促進事業」に掲載する。

(2) 地場産業支援事業

① 新製品、新技術及びデザイン開発支援事業 12,125千円（12,140千円）

静岡の特色を活かした新商品の開発・実用化及び販路開拓支援等による業界全体の活性化を図る。

<ニューウェーブ「しずおか」創造事業>

地元製造業者と、全国公募により選定したデザイナーをマッチングし新商品開発を行う。開発した商品は首都圏で開催されているデザイン感度の高いBtoB展示会へ出展し、テストマーケティングを行い、商品の実用化に向けて支援する。

◆取組 ・製造業者、デザイナーへのフォローアップを行い、商品開発に集中できる環境を提供する。

◇目標 ・開発商品実用化件数 2件（経営計画目標）
・展示会での商談件数 40件（経営計画目標）

<地場産業販路開拓・PR事業>

ニューウェーブ「しずおか」創造事業のアフターフォローとして首都圏で開催されている2つのタイプの異なる展示会に出展ブースを設置し、地元製造業者に販路開拓の場を提供して開発商品の実用化を支援する。昨年度は出展面積を拡大し、フォロー体制を強化した結果、売上向上の傾向が見られた。これを踏まえ、令和7年度も引き続き出展面積を維持して売上げの動向を注視して行く。

◆取組 ・地場産業販路開拓・PR事業を有効活用し、開発商品の実用化、販路開拓を支援する。

◇目標 ・開発商品実用化件数 2件（経営計画目標）
・展示会での商談件数 40件（経営計画目標）

※<ニューウェーブ「しずおか」創造事業>と共通の目標

<若手職人支援プロジェクト>

静岡の伝統工芸やものづくり産業の未来を担う若手職人の新たな挑戦をサポートする。今年度も引き続き、若手職人集団・するがクリエイティブを対象に実施し、グループとして企画・運営する展示販売会「駿府楽市展」への支援を中心に、グループの発展やPR等のサポートを行う。

◆取組 ・駿府楽市展の開催サポート

◇目標 ・出展者の満足度90%以上

② 人材養成、人材確保推進事業 3,646千円（4,033千円）

伝統産業の技術力を継承する実技演習や中小企業の従事者、職人等の販売力、広報力を養う各種講習会を実施し、地場産業の後継者育成と中小企業の経営基盤強化を支援する。

<伝統工芸技術保存講習会>

静岡市伝統工芸技術秀士及び同等の技術を持った職人を講師に迎え、主に地場産業に就業している職人を対象に、漆芸・竹細工・木工の実技講習会を開催し、伝統工芸の後継者育成と技術練磨を図る。

◆取組 ・各種展覧会やコンペティション情報の提供及び出品のサポートを行い、受講者のモチベーションの向上に取り組む。

◇目標 ・展覧会及びコンペティションへの出品2点（経営計画目標）

<静岡ものづくり支援事業>

ものづくり関係者を対象に、地場産業に関する講演会等の実施、保有技術や商品をアピールする展示会への出展を行い、経営力の強化など地場産業の抱える課題の解決

につながる支援を行う。また、静岡市や関係団体と連携して、ものづくりイベントの実施における支援を行う。

- ◆取組 ・地場産業に関する講演会等の開催。
 - ・ものづくりイベント実施に向けて静岡市や関連企業等と協業し、支援を行う。

- ◇目標 ・講演会等の参加者数 30 名以上
 - ・オープンファクトリーやワークショップなどのイベントの実施
(経営計画目標)

③ 「産業フェアしずおか」開催事業 18,338 千円 (18,411 千円)

静岡市及び各種産業団体等と連携して「産業フェアしずおか」を開催し、静岡市の地場産業及び地場産品等を一堂に集め、その魅力を発信して消費拡大を促す。

<産業フェアしずおか 2025>

市内の地場、農・林・水産業や観光等の出展者に販売や魅力発信等の機会を創出し、来場者に静岡市の“伝統工芸品や地場産品の愛用”と“地産地消”を促すとともに、他都市からの出展による地域交流や中部横断自動車道沿線エリアの物産の振興など、地域経済の活性化のための取組を推進する。

令和7年度は、近年のフェアで好評を得ている体験企画の更なる充実を図り、来場者が直接伝統工芸や地場産業に触れ、親しめるようにすることで関心・興味を引き出し、理解を広げる一助とする。また、時代のニーズに合わせSNSを活用し、魅力を発信・拡散することで、これまでアプローチできなかった層の来場獲得を目指す。

〔会 場〕 ツインメッセ静岡

〔開催日〕 令和7年11月29日(土)・30日(日)(予定)

〔主 催〕 (公財)静岡産業振興協会

- ◆取組 ・来場者、出展者に対するアンケートの実施と、その結果のフィードバックにより、質の高いフェア開催を目指す。

- ◇目標 ・来場者満足度 90%以上 (経営計画目標)
 - ・出展者満足度 90%以上 (経営計画目標)

④ 「ものづくり産業体験事業」に対する協賛金交付事業 1,500 千円 (1,500 千円)

地域の小・中・高校生がものづくり体験を通して、地域産業にふれあい、興味・関心を醸成することを目的に実施する催事に対して、協賛金による助成を行う。

- ◆取組 ・ツインメッセ静岡を利用して、静岡市内に在住する小・中・高校生を対象にした体験型催事を実施する地場産業団体へ協賛金を交付する。

(3) 都市型産業支援事業

① 創業に関する相談、創業者間の交流の推進等創業者に対する総合的支援

1,445 千円 (1,500 千円)

創業希望者、創業後初期段階にある個人や中小企業を対象に、創業や経営に関する悩みや課題の解決に積極的に対応する。

<創業希望者等に対する経営指導、ビジネスプランのブラッシュアップ等の実施>

◆取組 ・企画事業スタッフ等による事業指導、経営相談

◇目標 ・相談件数 200 件

<創業希望者及び創業直後の希望者に対するセミナー、研修等の実施>

◆取組 ・起業スタートアップ塾 (全2回)

・創業支援セミナー (全6回+特別編)

・起業後のフォロー (キャリア) アップセミナー (全2回)

◇目標 ・新規創業者数、新商品開発数、新分野進出件数 計 40 件以上
(経営計画目標)

<学生等に対する創業機運の醸成のための講義及びワークショップの実施>

◆取組 ・外部講師、中小企業診断士などによるアイデア創出、ビジネスプランの作成、プレゼン等の支援

◇目標 ・講義及びワークショップの実施先 6 校

②創業者及び中小企業と大学等との連携の推進 9,040 千円 (8,700 千円)

産学連携を促進するため、積極的に情報収集・提供を行うとともに、大学等と企業との交流・連携事業を実施する。

<産学連携コーディネータ相談事業>

◆取組 ・窓口での相談はもとより、積極的に企業、大学を訪問し、産学連携のマッチングを進める。

・静岡地域産学連携コーディネータ会議の開催 (年6回程度)

・大学、試験研究機関等見学会の開催 (年2回程度)

・企業現場見学会の開催 (年2回程度)

・しんきんビジネスマッチングへの出展及び相談対応による実態調査

◇目標 ・相談対応件数 100 件以上 (経営計画目標)

・産学官金連携、異業種連携のマッチング件数 2 件以上 (経営計画目標)

③製品、技術及び事業計画等の展示及び発表会の開催 4,910千円（4,850千円）

ビジネスアイデアを具現化するためのコンテストを実施し、プランのブラッシュアップに関与する他、伴走型支援にも積極的に取り組む。

＜ビジネスプランコンテストの実施及び伴走支援の実施＞

- ◆取組 ・応募シートを簡略化、応募期間を早めるとともに、書類審査では、アイデアの優れたプランを選出する。
- ・書類審査通過プランは、窓口相談、創業支援セミナー等の受講を必須とし、ブラッシュアップしたプランを二次、最終審査進出とする。
- ・静岡県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、新事業に取り組む事業承継者の伴走支援を行う。

◇目標 ・応募件数 50 件以上

④経営に関する相談等総合的な経営支援 5,940千円（8,880千円）

中小食品事業者の商品開発ノウハウの取得と顧客嗜好に基づいた販売力強化に資する支援を行う。

＜商品開発プロジェクトの実施＞

- ◆取組 ・マーケティング理論の学習のみならず実践体験を通じて、商品開発及び販売促進を支援する。
- ・過去のプロジェクト参加商品に対しても、その後の販売実績を追跡調査することで、適切な販売促進策を検討していく。
- ・販路開拓のための販売イベントを実施する。

◇目標 ・新商品開発 5 件以上

⑤産業及び大学等に関する情報の収集及び提供 946千円（750千円）

創業者や中小企業者の事業に有益となるような産業及び大学等の支援事業、補助金・助成金等の情報、各種セミナー等の情報を収集し、タイムリーに提供する。

＜ホームページ、機関誌等による提供＞

- ◆取組 ・ホームページ（メールマガジン）での提供
- ・機関誌での提供（年4回発行）
- ・産学交流センターパンフレットの更新（1,000部）及び提供

◇目標 ・メールマガジン新規登録者数 200 件

< 6階、7階ラウンジ及び地下通路ショーケースでの提供 >

- ◆取組 ・ 6階、7階ラウンジでの提供
- ・ 地下通路ショーケースでの提供

⑥大学等と企業、地域社会等の協力による地域課題の解決に向けた調査及び研究並びに
人材育成 10,700千円 (12,000千円)

静岡市内の企業・業界・団体等が地域課題を解決するため、高度な知識・技術・ノウハウを持つ大学等と共同で取り組む調査・研究・開発には、積極的に支援する。

< 地域課題に係る産学共同研究委託事業の推進 >

- ◆取組 ・ 静岡市内の企業・業界・産業活性化に係る団体等が静岡市の地域課題を解決するため、高度な知識・技術・ノウハウを持つ大学等と共同で取り組む調査・研究・開発を支援する。

< 支援件数 (採択予定件数) >

基礎コース 5件程度 応用コース 2件程度

発展コース 1件程度

- ◇目標 ・ 産学連携マッチング例 2件以上

⑦施設提供事業

中小企業の会議や研修をはじめ、大学等の講義、講演会等に施設の貸出を行う。

- ◆取組 ・ 利用者からの要望については、可能な限り対応し、快適に利用いただけるよう改善を図ることで、リピーターの確保につなげていく。
- ・ 大学や産業支援機関等が主催する事業で、当センターの事業を拡大、補完するものと認められる事業については、施設の優先利用を許可する。

- ◇目標 ・ 年間施設使用料収入 12,668千円以上

(4) 中小企業支援センター事業

① 窓口相談等事業 8,600千円(7,820千円)

中小企業者やこれから創業を志す人に対し、中小企業診断士やIT専門家による経営相談や、マーケティングアドバイス、創業相談等を行う。

◆取組 ・創業基礎知識習得を支援するための中小企業診断士による個別相談を月曜日から金曜日の週5日実施する。

・IT専門家によるWEBマーケティング個別相談は、相談者からの要望により、毎週土曜日に加え、本年度は平日を2日追加して実施する。

◇目標 ・新規創業者数、新商品開発数、新分野進出件数 40件以上
(経営計画目標)

② 専門家派遣事業 5,703千円(5,025千円)

創業者や創業予定者、中小企業者等の課題や問題等を解決するために専門家を派遣する。また、進化するIT化への対応などの相談が増えていることから、IT化の指導が可能な専門家の確保に取り組む。

◆取組 ・経済関係団体と専門家の情報を共有し、IT関連に精通した専門家の登録を促進する。

◇目標 ・IT関係の専門家を新たに2人以上確保(経営計画目標)

③ 中小企業経営力強化事業 1,000千円(1,000千円)

中小企業者の経営方法や技術に関し、高度の専門的知識、経験を持つ専門家による助言・経営診断等を実施する。

④ 中小企業等経営支援事業 1,861千円(1,861千円)

創業者、中小企業者等に対して、経営力向上を目的としたセミナー、ワークショップ等を開催する。

◆取組 ・「基礎、応用、特別」の3本立てで、毎月1回程度セミナーを開催する。

基礎編：マーケティングの基本について、繰り返し学習機会を提供

応用編：マーケティング諸問題の解決に直結するスキルを提供

特別編：リーンローンチパッドワークショップ及び関連講座、地元経営者による講座

◇目標 ・講座受講者による満足度割合90%以上

⑤ 制度融資関連事務(静岡市受託事業) 7,207千円(6,600千円)

融資の申込書類の受付、相談事務など、中小企業者への融資制度事務を行う。

2 収益事業

(1) ツインメッセ静岡貸館事業（産業及び地域の振興・交流拠点事業）

① 展示場及び会議室等の貸与 94,846千円（91,145千円）

市民を対象にした企業の販売会やPRイベントなど公益目的事業以外の催事にも展示場、会議室を提供し、地域経済の活性化と施設運営の安定化を図る。

<主な催事>

パナソニック商談会（4月・9月） 伊藤忠ファミリーフェア（6月・12月）

キャンピングカー&アウトドアショー（6月）

輸入車アウトレットフェア（7月・2月） 将棋日本シリーズ静岡大会（8月）

静鉄ストア直売会（9月） ミネラルザワールド天然石祭（11月）

※「◆取組」「◇目標」については、

「3 公益と収益に共通する事業」「(1) 利用促進事業」に掲載する。

② レストランテナント及び飲料水自動販売機事業

テナント方式によるレストランや飲料水、コピー機等を設置し、施設利用者の利便性を確保する。

3 公益と収益に共通する事業

(1) 利用促進事業 5,970千円（6,047千円）

① ツインメッセ静岡の展示機能等を活かした交流人口拡大による地域経済の活性化

静岡市の産業振興に貢献する産業支援施設として、展示会、イベント、セミナーなど多様な催事の誘致に取り組み、にぎわいと活力ある地域づくりに貢献するとともに、施設利用率の向上を目指し、安定的な施設運営を図る。

<利用者満足度の向上>

地域唯一の産業支援センターとして、産業振興に数多く携わってきた職員が催事開催支援のノウハウを活かし、催事の成功に導き、利用者満足度の向上を図る。

- ◆取組 ・貸館の運營業務において集積された開催成功のノウハウや静岡市ならではのコンテンツを利用者に提供し、サポートを行う。
- ・利用者を対象にアンケートによるヒアリング調査を実施し、ニーズ及び改善点を把握する。
- ・催事主催者の支援や催事開催を後押しする新たな制度を検討する。
- ・休館を予定している近隣施設で開催されている催事的主催者へ誘致活動を行う。

- ◇目標 ・南・北大展示場利用率 53%（経営計画目標）
 - ・ヒアリング調査の結果を踏まえ、対策を検討し、改善可能なものから実施する。（経営計画目標）

<行政施策と連動した静岡型MICEの誘致>

大規模展示会・催事の誘致には、主催者にとって静岡で開催することの経済合理性やそれを上回る話題性などが必要であり、本施設単独での誘致活動には限界があるため、行政や関係機関と連携し、地域を挙げた静岡型MICEの推進を目指す。

- ◆取組 ・海洋関連MICE、海釣り公園供給開始イベント、中部横断道開通に伴う沿線地域との経済交流活性化イベントなど、県や市の施策に沿った地方でも開催可能なコンベンションや商談会の誘致活動を行う。
 - ・交通、宿泊、飲食などのMICE関連業界と共同してキーパーソンに接触、アピールし、MICE誘致の競争力を高める。
 - ・大規模かつ長期の公共利用についても、調査研究する。

- ◇目標 ・継続的な誘致検討案件を 3 件確保（経営計画目標）

<地域ブランド「模型・ホビー」分野に特化したアプローチ>

静岡市の模型・ホビーの発信拠点の一つとなっている本施設の優位性を活用し、静岡市の推進する「静岡市プラモデル化計画」への貢献を図るとともに、「模型・ホビー」分野と親和性のあるコンテンツにアプローチする。

- ◆取組 ・関連業界で発言力・実行力があるキーパーソンに接触し、アピール、マッチングすることにより関係性を築き、新規利用者の獲得につなげる。
 - ・問い合わせが増加傾向にある各種ゲーム、同人誌、クラフト、フリーマーケットなど趣味に特化した催事への営業活動を強化する。
 - ・他施設との情報交換を行い、当施設で開催実績のない催事等の誘致に向けた調査研究を行う。
 - ・閑散期の収益性の向上を図るため、エンターテイメント要素のある来場者参加型イベントの企画検討を行う。

- ◇目標 ・継続的な誘致検討案件を 3 件確保（経営計画目標）

※<行政施策と連動した静岡型MICEの誘致>と共通の目標

② 目的とターゲットを明確にした情報発信

付加価値の高い情報を施設利用者や来場者に伝えるため、SNSを活用して、施設及びイベント紹介の写真や動画、タイムリーな情報を全国に向けて発信していく。また、SNS発信で成果を上げている地元企業や団体と連携し、これまでターゲットに

なり得なかった層へ情報を拡散することで利用促進や来場促進につなげる。

- ◆取組
 - ・ Xを活用し、効果的なイベント告知やダイレクトかつリアルタイムな情報などを投稿する。(投稿を1年で300件以上行う。)
 - ・ Xのブルー認証バッジ(X Premium)の継続(*1)。
 - ・ 地元企業と連携し、互いにXのフォロワーに情報を提供する。
 - ・ ツインメッセ公式Xとイベントカレンダーを連動させSNSと紙媒体それぞれの強みを活かし情報発信する。

◇目標

- ・ Xのインプレッション数(*2) 150,000件以上(経営計画目標)

*1 ブルー認証バッジ(X Premium)を継続することにより、当協会Xアカウントの信頼性の向上と、投稿が上位表示され易くなるため、より多くのXユーザーの目につきやすくなる。

*2 Xのインプレッション数:
当協会の投稿(ツイート)をユーザーが「表示した回数」のこと。

(2) 有料駐車場の管理・運営(ツインメッセ静岡)

駐車場の維持管理に努め、来場者の利便性を高める。また、イベント開催時の混雑状況に応じ、場内の安全確保と、周辺道路の渋滞による近隣住民への配慮のため、主催者と協議のうえ駐車場係員を配置する。

☆収容台数 立体 587 台・地下 189 台

☆利用料金 1 時間毎 200 円

(3) 施設整備・修繕等(ツインメッセ静岡) 106,000 千円(105,316 千円)

利用者の安心・安全の確保及び利用者サービスの向上を図るため、施設及び設備の修繕を実施する。

令和12年度以降に実施予定の北館大展示場等の大規模改修工事に係る設計・資金計画等のスケジュールの検討、調整を進めていく。

また、5台の昇降機(エレベーター)は更新時期を迎えており、特に使用頻度の高い1号機(中央棟)は早急な対応が必要となっている。8年度の施工に向けて今年度より準備を進める。

①計画修繕 96,000 千円(95,316 千円)

計画修繕については、財政状況を考慮し、中長期修繕更新計画(改訂)に基づき修繕を実施するものとする。

ア 南館地下駐車場泡消火設備修繕(2/4期)

- イ 照明器具 LED 化
- ウ 北館大展示場吸収冷温水機（1号機）分解整備
- エ 北館大展示場冷温水ポンプ分解整備
- オ 西館第2小展示場搬入口扉修繕（シャッター設置）
- カ 立体駐車場南部体育館側出口鉄骨上屋葺替え
- キ 立体駐車場スロープ壁吹付タイル塗装・シーリング打替え
- ク 授乳室設置
- ケ トイレベビーシート交換

- ◆取組 ・北館等の大規模改修に向け、事業概要・概算・実施可能年度等の調査
- ◇目標 ・令和8年度末までに北館等大規模改修基本計画の策定（経営計画目標）

4 組織づくり・人材づくりへの取組

(1) 人材育成 515千円（444千円）

協会が担う各事業を着実に実施するために、事業企画力、交渉力、危機管理能力（救命、AED 使用など）、産業支援のノウハウ、財務能力、経営管理能力など実務に精通した、横断型人材の育成に取り組む。

- ◆取組 ・研修に関する職員からのヒアリング結果を基に、定期的な研修プログラムを設定し受講を推進する。
- ◇目標 ・研修受講（経営計画目標）

(2) 内部統制等

公益法人として適正な運営に努めるため内部統制の更なる充実を図る。

- ◆取組 ・社会情勢及び環境変化に応じて、関連する規程、マニュアル等について見直しを行う。
- ◇目標 ・整備が必要な規程等の確認作業を行い、整備後順次施行（経営計画目標）

5 理事会・評議員会

協会が適切な事業運営を行うために、下記の時期に理事会及び評議員会をそれぞれ開催する。理事会では業務執行の決定等を行い、評議員会では法人運営の適正化の評価等を行う。

- ☆定時理事会 5月、3月
- ☆定時評議員会 6月

令和7年度収支予算書
 公益財団法人 静岡産業振興協会
 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常利益				
① 基本財産運用益	449,084	440,051	9,033	
基本財産受取利息	84	51	33	
基本財産受取賃借料	398,000	391,000	7,000	
基本財産受取駐車場料	51,000	49,000	2,000	
② 事業収益	15,421	16,651	△ 1,230	
施設利用料収益	12,668	14,110	△ 1,442	
受取負担金	2,753	2,541	212	
③ 受取補助金等	202,686	205,708	△ 3,022	
受取地方公共団体補助金	116,054	117,576	△ 1,522	
産学交流センター指定管理受託収益	80,032	81,532	△ 1,500	
制度融資窓口事務受託収益	6,600	6,600	0	
④ 受取負担金	8,482	8,297	185	
受取負担金	8,482	8,297	185	
⑤ 受取出捐金	0	0	0	
受取出捐金	0	0	0	
⑥ 雑収益	3,391	2,401	990	
雑収益	3,391	2,401	990	
⑦ 営業収益	4,100	4,100	0	
飲料水販売受託収益	4,100	4,100	0	
⑧ 営業外収益	2,640	2,640	0	
雑収益	2,640	2,640	0	
経常収益計	685,804	679,848	5,956	
(2) 経常費用				
① 事業費	855,746	840,820	14,926	
給料手当	116,292	107,359	8,933	
退職給付費用	3,294	2,684	610	
福利厚生費	19,204	16,337	2,867	
旅費交通費	2,216	2,206	10	
通信運搬費	2,995	4,296	△ 1,301	
広告料	2,473	1,809	664	
減価償却費	214,592	214,592	0	
消耗什器備品費	3,509	3,349	160	
消耗品費	6,702	5,838	864	
修繕費	106,446	105,767	679	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
印刷製本費	3,487	3,429	58	
燃料費	140	150	△ 10	
食糧費	383	407	△ 24	
光熱水料費	83,960	83,655	305	
賃借料	12,309	18,263	△ 5,954	
災害保険料	3,041	2,494	547	
諸謝金	32,610	31,238	1,372	
手数料	3,395	3,223	172	
租税公課	32,474	32,473	1	
原材料費	619	830	△ 211	
助成金	1,500	1,500	0	
負担金	4,043	4,454	△ 411	
委託費	199,931	194,336	5,595	
雑費	70	70	0	
雑損失	61	61	0	
②管理費	48,997	47,400	1,597	
役員報酬	6,071	5,871	200	
給料手当	30,537	30,160	377	
退職給付費用	2,106	1,716	390	
福利厚生費	5,873	5,288	585	
旅費交通費	552	521	31	
減価償却費	1,512	1,512	0	
通信運搬費	13	23	△ 10	
消耗什器備品費	15	16	△ 1	
消耗品費	30	25	5	
修繕費	742	737	5	
印刷製本費	11	10	1	
食糧費	17	22	△ 5	
光熱水料費	523	511	12	
災害保険料	21	16	5	
諸謝金	659	659	0	
手数料	14	11	3	
租税公課	228	229	△ 1	
負担金	3	3	0	
雑費	70	70	0	
經常費用計	904,743	888,220	16,523	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 218,939	△ 208,372	△ 10,567	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資資産評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 218,939	△ 208,372	△ 10,567	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 218,939	△ 208,372	△ 10,567	
一般正味財産期首残高	6,083,330	6,291,682	△ 208,352	
一般正味財産期末残高	5,864,391	6,083,310	△ 218,919	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	30,000	30,000	0	
指定正味財産期末残高	30,000	30,000	0	
III 正味財産期末残高	5,894,391	6,113,310	△ 218,919	

令和7年度 収支予算内訳表
 公益財団法人静岡産業振興協会
 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計						収益事業会計				法人会計	内部取引消去	合 計	
	公1	公2	公3	公4	共通	小計	収1	他1	共通	小計				
I 一般正味財産増減の部														
1. 経常増減の部														
(1) 経常利益														
① 基本財産運用益	314,300	0	0	0	84	314,384	3,980	130,720	0	134,700	0	0	449,084	
基本財産受取利息	0	0	0	0	84	84	0	0	0	0	0	0	84	
基本財産受取賃借料	278,600	0	0	0	0	278,600	3,980	115,420	0	119,400	0	0	398,000	
基本財産受取駐車場料	35,700	0	0	0	0	35,700	0	15,300	0	15,300	0	0	51,000	
② 事業収益	0	490	12,668	2,263	0	15,421	0	0	0	0	0	0	15,421	
施設利用料収益	0	0	12,668	0	0	12,668	0	0	0	0	0	0	12,668	
受取負担金	0	490	0	2,263		2,753	0	0	0	0	0	0	2,753	
③ 受取補助金等	33,600	35,393	80,032	39,261	0	188,286	480	13,920	0	14,400	0	0	202,686	
受取地方公共団体補助金	33,600	35,393	0	32,661	0	101,654	480	13,920	0	14,400	0	0	116,054	
産学交流センター指定管理受託収益	0	0	80,032	0	0	80,032	0	0	0	0	0	0	80,032	
制度融資窓口事務受託収益	0	0	0	6,600	0	6,600	0	0	0	0	0	0	6,600	
④ 受取負担金	1,312	0	2,016	0	0	3,328	2,341	563	0	2,904	2,250	0	8,482	
受取負担金	1,312	0	2,016	0	0	3,328	2,341	563	0	2,904	2,250	0	8,482	
⑤ 受取出捐金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
受取出捐金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑥ 雑収益	2,338	0	51	0	0	2,389	0	1,002	0	1,002	0	0	3,391	
雑収益	2,338	0	51	0	0	2,389	0	1,002	0	1,002	0	0	3,391	
⑦ 営業収益	0	0	0	0	0	0	4,100	0	0	4,100	0	0	4,100	
飲料水販売受託収益	0	0	0	0	0	0	4,100	0	0	4,100	0	0	4,100	
⑧ 営業外収益	0	0	0	0	0	0	2,640	0	0	2,640	0	0	2,640	

科 目	公益目的事業会計						収益事業会計				法人会計	内部取引消去	合 計
	公1	公2	公3	公4	共通	小計	収1	他1	共通	小計			
雑収益	0	0	0	0	0	0	2,640	0	0	2,640	0	0	2,640
經常収益計	351,550	35,883	94,767	41,524	84	523,808	13,541	146,205	0	159,746	2,250	0	685,804
(2)經常費用													
①事業費	429,265	54,346	103,147	42,351	0	629,109	18,184	208,453	0	226,637	0	0	855,746
給料手当	31,266	15,800	30,653	19,376	0	97,095	3,564	15,633	0	19,197	0	0	116,292
退職給付費用	2,160	0	0	0	0	2,160	54	1,080	0	1,134	0	0	3,294
福利厚生費	6,024	2,600	4,241	3,176	0	16,041	151	3,012	0	3,163	0	0	19,204
旅費交通費	783	694	226	179	0	1,882	0	334	0	334	0	0	2,216
通信運搬費	1,277	331	751	82	0	2,441	6	548	0	554	0	0	2,995
広告料	1,288	533	100	0	0	1,921	0	552	0	552	0	0	2,473
減価償却費	132,472	0	0	0	0	132,472	3,674	78,446	0	82,120	0	0	214,592
消耗什器備品費	2,105	0	150	279	0	2,534	46	929	0	975	0	0	3,509
消耗品費	2,945	918	738	752	0	5,353	65	1,284	0	1,349	0	0	6,702
修繕費	71,974	88	1,100	0	0	73,162	1,802	31,482	0	33,284	0	0	106,446
印刷製本費	1,253	192	1,303	171	0	2,919	24	544	0	568	0	0	3,487
燃料費	49	0	0	70	0	119	0	21	0	21	0	0	140
食糧費	80	0	270	0	0	350	0	33	0	33	0	0	383
光熱水料費	47,552	0	9,833	0	0	57,385	5,748	20,827	0	26,575	0	0	83,960
賃借料	2,788	4,521	2,615	1,190	0	11,114	0	1,195	0	1,195	0	0	12,309
災害保険料	2,041	0	57	0	0	2,098	51	892	0	943	0	0	3,041
諸謝金	0	1,430	14,643	15,772	0	31,845	765	0	0	765	0	0	32,610
手数料	1,584	236	539	249	0	2,608	95	692	0	787	0	0	3,395

科 目	公益目的事業会計						収益事業会計				法人会計	内部取引消去	合 計
	公1	公2	公3	公4	共通	小計	収1	他1	共通	小計			
租税公課	22,059	30	30	11	0	22,130	653	9,691	0	10,344	0	0	32,474
原材料費	0	619	0	0	0	619	0	0	0	0	0	0	619
助成金	0	1,500	0	0	0	1,500	0	0	0	0	0	0	1,500
負担金	423	500	2,883	44	0	3,850	9	184	0	193	0	0	4,043
委託費	99,093	24,354	33,015	1,000	0	157,462	1,416	41,053	0	42,469	0	0	199,931
雑費	49	0	0	0	0	49	0	21	0	21	0	0	70
雑損失	0	0	0	0	0	0	61	0	0	61	0	0	61
②管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48,997	0	48,997
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,071	0	6,071
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30,537	0	30,537
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,106	0	2,106
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,873	0	5,873
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	552	0	552
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,512	0	1,512
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	13
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	15
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	30
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	742	0	742
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	11
食糧費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	17
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	523	0	523
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
災害保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	21
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	659	0	659
手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	14
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	228	0	228

科 目	公益目的事業会計						収益事業会計				法人会計	内部取引消去	合 計
	公1	公2	公3	公4	共通	小計	収1	他1	共通	小計			
負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70	0	70
経常費用計	429,265	54,346	103,147	42,351	0	629,109	18,184	208,453	0	226,637	48,997	0	904,743
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 77,715	△ 18,463	△ 8,380	△ 827	84	△ 105,301	△ 4,643	△ 62,248	0	△ 66,891	△ 46,747	0	△ 218,939
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 77,715	△ 18,463	△ 8,380	△ 827	84	△ 105,301	△ 4,643	△ 62,248	0	△ 66,891	△ 46,747	0	△ 218,939
2. 経常外増減の部													
(1) 経常外収益													
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用													
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	△ 18,463	18,463	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 96,178	0	△ 8,380	△ 827	84	△ 105,301	△ 4,643	△ 62,248	0	△ 66,891	△ 46,747	0	△ 218,939
一般正味財産期首残高	5,636,470	△ 6,887	13,974	2,623	645,768	6,291,948	△ 3,433	△ 25,177	201,638	173,028	△ 381,646	0	6,083,330
一般正味財産期末残高	5,540,292	△ 6,887	5,594	1,796	645,852	6,186,647	△ 8,076	△ 87,425	201,638	106,137	△ 428,393	0	5,864,391
II 指定正味財産増減の部													
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000	0	0	0	0	30,000	0	0	0	0	0	0	30,000
指定正味財産期末残高	30,000	0	0	0	0	30,000	0	0	0	0	0	0	30,000
III 正味財産期末残高	5,570,292	△ 6,887	5,594	1,796	645,852	6,216,647	△ 8,076	△ 87,425	201,638	106,137	△ 428,393	0	5,894,391

事業区分

公益目的事業

- 公1 静岡産業支援センター(ツインメッセ静岡)を用いた産業及び地域の振興・交流拠点事業
- 公2 地場産業支援事業
- 公3 都市型産業支援事業
- 公4 静岡市中小企業支援センター事業

収益事業

- 取1 レストランテナント及び飲料水自動販売機事業
- 他1 静岡産業支援センター(ツインメッセ静岡)の公益目的事業以外の貸与事業

資金調達及び設備投資の見込を記載した書類

(令和7年4月1日から令和8年3月31日)

(1) 資金調達の見込について

当期中に資金調達の予定はありません。

(2) 設備投資の見込について

当期中に重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定はありません。